



## 教えてネ 地域のお話

### 温もりのある声で 寄り添う「声の広報」 発行1千300号に！

**い** ま、みなさんがご覧になっている広報あきたを毎号音訳し、視覚障がい者のかたへCDにしてお届けしている「声の広報あきた」が、今年5月15日号で通算1千300号を迎えました。

声の広報は、現在、ボランティアのグループ「花時計」のみなさんが、毎回交代で吹き込みを行っています。

昭和51年のスタート時から制作に携わっている会長の見上裕子さんは、「ここまで続けることができ

てうれしい気持ちです。普段使うことのない行政用語の読み方や機材の操作は難しく大変ですが、会員は日々研修を重ね、聴くかたがわかりやすい広報となるように努めています。学習しながらの活動ですが、関心のあるかたはお声掛けください」と話してくれました。

ともすれば「お堅い」表現を、温もりある声でやわらかい印象にして伝える「花時計」のみなさん。その役割はこれからも欠かすことができない、市民と市政をつなぐ大事な架け橋となっています。

●「花時計」について、詳しくは見上さんへお問い合わせください。☎(835)4693

●「声の広報あきた」は、希望する視覚障がい者のかたへ、月2回無料でCDを郵送しています。詳しくは、広報広聴課へお問い合わせください。☎(888)5471

\*お聴きになるには、視覚障がい者用CD再生機などが必要です。



「花時計」のみなさん。会員は現在14人です



1千300号の歩みを記念誌にしました

### 会話も弾む！ 女性活躍「松下マルシェ」

**千** 秋公園内にある、あきた文芸化産業施設「松下」を丸ごと会場に、秋田の働く女性たちの情報サイト「a.woman」と市の共催で、「松下マルシェ」を10月25日に開催しました。

会場では、メイクアップやネイル体験のほか、女性起業家などが手がけたお菓子やパン、アクセサリーなども販売。訪れたみなさんはお目当ての商品を手に取りながら、出店者との会話も楽しんでいましたよ！



多様な出品ジャンルを見ているだけで、何だかワクワクします

感染予防対策で、入場制限をしながら実施しました



メイクのコツをアドバイス



好みのマニキュアでネイル体験



上新城の渡邊農園で、たわわに実ったリンゴを収穫(写真上)、さとぴあでは、リンゴのお菓子作りにも挑戦しました(写真下)

### いろいろな体験♪ 秋深まる農村を満喫

**ま** ちも里山も、紅葉が盛りを迎えた10月31日、「秋田市農村の魅力体験ツアー」が行われ、市内外から参加した13人が、ダリアの観賞とリンゴのまぎとりなどを体験しました。

これは、市内の農業や自然、文化を広く知ってもらい、農村地域の活性化につなげることを目的に、市が、都市農村交流事業の一環として開催したものです。

市内のかたは地元の良いところを見つめ直し、市外のかたは新たな発見をするいい機会になった様子。この日体験して感じた魅力や、どんな周りに発信していくてくれるとうれしいです！

産業企画課 ☎(888)5724

11月29日も開催します！